

イ 食に関する指導 第3学年実践例(学級活動)

(ア) 題材名 好きなものだけ食べないで

(イ) 学習指導過程例

学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 留 意 点
<p>1 好き嫌いアンケートの結果を見て気づいたことを発表し本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">好き嫌いなく食べよう</div> <p>2 食品は、健康な体を作ったり、毎日元気で生活していくために大切な働きをもっていることを知る。</p> <p>3 今日の給食に使われている食品を3つのグループに分け、給食はバランスよく作られていることに気づく。</p> <p>4 みんなの嫌いな食品を給食ではどのように工夫して使っているか知る。</p> <p>5 これからの自分の食事のめあてを書き、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を提示し、自由に発表させる中で課題を見つけさせる。 ・個人の嫌いなものを意識させる。 <p>食べることにより、食品が私たちの体の中でどのように働いているかを説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">主に体を作る働きをするグループ ・血、肉、骨を作る。</div> <p>不足すると...成長が遅れる。骨が折れやすい。貧血になったり、すぐ疲れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">主に体の調子を整える働きをするグループ ・皮膚を強くし、病気にかかりにくくする。</div> <p>不足すると...病気にかかりやすくなる。夜、目が見えにくくなる。すぐに疲れる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">主に力のもととなる働きをするグループ ・勉強したり、運動したりするときのエネルギーを作り出す。</div> <p>不足すると...力がわかず、何もする気が起きなくなる。すぐに疲れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の体の仕組みを知り、食べるということが自分の体の成長と健康なからだを保つために直接関係していることに気づかせる。 ・自分には何が不足しているか気づかせる。 <p>今日の給食献立を3つのグループに分けさせ、毎日バランスよく摂れるように工夫してあることを知らせる。</p> <p>児童の嫌いな食品も、食べやすくするために、味付けや調理法を工夫していることを知らせる。</p> <p>自分の体のことを考えて書けるよう意識をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の大切な働きを知って好き嫌いをなくし、健康な体を作ろう。 今後、給食指導や食に関する指導との関連を図り、継続的な指導、支援をする

評価：給食では毎日たくさんの食品をバランスよく使っていることを献立表や指導カードで知り、給食の時間に実際に食べることで体験、確認する。

指導に当たっては、学校栄養職員からの指導資料の提供やチーム・ティーチングへの積極的な協力を得るなど、指導体制を工夫することも大切です。